

E.T.C. 「教育をタイムリーにチェンジする」



長野県総合教育センター通信

し の の め

2018/05/10
(平成30年05月号)
第109号

〒 399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4

TEL (0263) 53-8802 FAX (0263) 51-1290 E-mail : kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp

目次

平成30年度総合教育センター研修事業のポイント・・・	1
教職員研修会サポートをご活用ください・・・・・・・・・・	2
単元をつくろう①（国語編）・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4

平成30年度総合教育センター研修事業のポイント

研修事業 「主体的・対話的で深い学び」へのチェンジ！

○子どもの「主体的・対話的で深い学び」につなぐ研修講座

- ・研修講座での教員の「主体的・対話的で深い学び」を，子どもの学びにつなぐ
- ・演習・実習・少人数協議におけるアウトプットで深い学びにつなぐ

◆子どもの深い学びにつなぐ，教員のキャリアステージに応じた指定研修

- ・長野県教員育成指標に基づき，自らの資質・能力の向上につなぐ研修
- ・教員相互の協働性を高め，考えを広げ深める研修

◆教師力・授業力の向上を図り，学力の向上につなぐ希望研修

- ・学校力の向上を目指す研修講座群の充実

 郷土，信州から学び，継承する「信州体験」講座

 現代的な諸課題への対応につなぐICT活用講座

- ・魅力ある教育課程，分かる授業に向けた，教材や授業のあり方を学ぶ教科等教育研修
- ・児童生徒理解と生徒指導上の諸課題への実践力向上を目指した生徒指導研修
- ・一人一人が持てる力を発揮できるインクルーシブな教育を目指した特別支援教育研修
- ・ICTを活用した教育手法を学び，授業力の向上を目指した情報教育研修
- ・産業社会の進展に対応した知識・技能を学び，実践的な教育を目指した産業教育研修



5月末に
決定通知
を送付さ
せていた
だきます。

教職員研修会サポートをご活用ください！

今、あなたの学校の**チェンジ！**に必要な
研修会を、専門主事が**サポート**します。

研修時間は

1時間半以上

2時間以内

サポート期間ごとに
 申込期間を設定

研修内容は

支援メニュー
 より選択

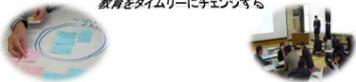
表紙

長野県総合教育センター 教職員対象の「学校支援事業」

教職員研修会サポート



教育をタイムリーにチェンジする



P1

「教職員研修会サポート」メニュー

No.	研修内容	研修時間	研修対象	研修形態	研修費用
1	国語科指導のポイント	1時間	教員	研修	無料
2	算数・数学の授業づくり	2時間	教員	研修	無料
3	理科・生物の授業づくり	2時間	教員	研修	無料
4	英語の授業づくり	2時間	教員	研修	無料
5	特別支援学校におけるキャリア教育	2時間	教員	研修	無料
6	ICT活用	2時間	教員	研修	無料
7	キャリア教育	2時間	教員	研修	無料
8	学校図書館の有効活用	2時間	教員	研修	無料

P2

No.	研修内容	研修時間	研修対象	研修形態	研修費用
9	英語・音楽指導のあれこれ	2時間	教員	研修	無料
10	技術・家庭科の授業づくり	2時間	教員	研修	無料
11	英語・音楽指導のあれこれ	2時間	教員	研修	無料
12	英語・音楽指導のあれこれ	2時間	教員	研修	無料
13	英語・音楽指導のあれこれ	2時間	教員	研修	無料
14	英語・音楽指導のあれこれ	2時間	教員	研修	無料
15	英語・音楽指導のあれこれ	2時間	教員	研修	無料
16	英語・音楽指導のあれこれ	2時間	教員	研修	無料
17	英語・音楽指導のあれこれ	2時間	教員	研修	無料
18	英語・音楽指導のあれこれ	2時間	教員	研修	無料
19	英語・音楽指導のあれこれ	2時間	教員	研修	無料
20	英語・音楽指導のあれこれ	2時間	教員	研修	無料
21	英語・音楽指導のあれこれ	2時間	教員	研修	無料
22	英語・音楽指導のあれこれ	2時間	教員	研修	無料
23	英語・音楽指導のあれこれ	2時間	教員	研修	無料
24	英語・音楽指導のあれこれ	2時間	教員	研修	無料
25	英語・音楽指導のあれこれ	2時間	教員	研修	無料

センター研修講座受講者の 伝達講習をサポートするメニューを追加

今の学びを将来につなぐ
 キャリア教育

みんなで取り組もう！
 カリキュラム・マネジメント

学校図書館の
 有効活用



校長会資料として配布させていただいていますが、
 センターH.P.の学校支援からもダウンロードいただけます。
 学校の課題に合わせて研修会サポートをご活用ください。



前期サポート期間（5月～9月）の
 申込み期限は**6月末日まで！**
 手続きは、次ページをご覧ください。



教職員研修会サポートをご活用ください

「教職員研修会サポート」の手順

～申込みから当日まで～

Step 1 計画

前期サポート期間 5～9月 ⇒ 申込み期限 6月末日
後期サポート期間 10～2月 ⇒ 申込み期限 9月末日

- ①【校 内】 教職員研修会サポートメニューから研修内容を選択し、研修会の計画を立てます。(申込み期限をご確認ください)
- ②【打 診】 研修内容が決まったら、教頭先生又は研修担当者より、センターの担当部へ電話し、日程等の打診をします。
(研修時間は1時間半以上、2時間以内を原則としてご計画ください)
(実施決定は所属長からの申込み・電話依頼後となります)

教科教育部
0263-53-8803

教職教育部
0263-53-8804

生徒指導・特別支援教育部
0263-
53-8833 (生徒指導)
53-8805 (特別支援)

情報・産業教育部
0263-53-8806

※相談したい部が分からない場合は、企画調査部 0263-53-8802 へご相談ください。

Step 2 申込み

- ③【電話依頼】 所属長より、担当部の部長へ専門主事の派遣を依頼します。
- ④【申請書送付】 「教職員研修会サポート派遣申請書」を作成し、センター所長宛てに送付します。
*派遣申請書の様式は、センターのホームページからダウンロードできます。
記入例を合わせてご覧ください。

Step 3 事前打合せ

- ⑤【電話相談】 教頭先生又は研修担当者と、センターの担当専門主事とで連絡を取り合い、当日の研修会の会場、手順、準備品等について、詳細を打合せます。
実施要項を作成し、実施1週間前までに担当部へ2部送付してください。
- ⑥【近隣校への案内】 可能な範囲で、中学校区や郡市内の同教科・同学年会、担当者会等へも参加を呼びかけてみてください。

Step 4 研修会当日

- ⑦【アンケート記入】 教職員研修会の成果等を記入し、担当専門主事に渡します。

Step 5 研修会のあと

- ⑧【実践・活用】 研修内容を活用し、それぞれの先生が実践します。
*教職員研修会サポートの内容を活用した授業等を公開する場合は、担当専門主事にも是非、ご連絡ください。
*実践する上で困ったことがありましたら、いつでもご相談ください。

単元をつくらう①

国語編



トモニ先生

生徒たちの主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、単元のまとまりを大事にした「読むこと」の単元づくりってどうすればいいのかな？

「読むこと」の学習では、教材文を読んで内容を整理し、一つの解釈に収まるような学習になったり、学習したことが次の単元につながりにくかったりするのよね。生徒たちが「言葉による見方・考え方」を働かせて教材文を読み、資質・能力をよりよく身に付ける学習にするために、見通しをもって単元づくりをしたいのだけれど。



ミガコ先生



つなぐ先生

「読むこと」の単元づくりでは、その文章を読むことを通して身に付ける資質・能力を明確にし、単なる読解に終始することなく、「言葉による見方・考え方」を働かせて読みを深め、自分の考えをもち、表現する楽しい学習活動を考えましょう。

- ①第1次では、生徒の初発の感想などから、目的や必要感のある単元を通した学習テーマを設定しましょう。
- ②第2次では、
 - ・前単元で身に付けた読み方を活用し、本文の内容をとらえる場面を設定しましょう。
 - ・その文章ならではの特徴的な表現に着目して本文を読み深め、自分の考えをもち、考えを交流し合う場面を設定しましょう。
- ③第3次では、学習テーマに対する自分の考えを深め、交流し合う場面を設定しましょう。

例えば「星の花が降るころに」(中1)の単元では・・・

①テーマ設定

『このあと、「私」はどうするんだろう』などの生徒の感想をもとに、目的に読むための学習テーマを設定しましょう。

②追究する

冒頭と最後の場面に描かれる「銀木屋」に関する描写の違いに着目して読み、「私の」心情の変化との関わりを考え、木の下をくぐって出たときの「私」の心情を想像する場面を設定しましょう。

③深める

自分なら、この後作品がどのように展開していくか想像し、登場人物の気持ちと情景描写を関連させながら、作品の続きを書く場面を設定しましょう。

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善(例)

【学 年】 中学校第1学年
 【単元名】 「人物の気持ちや出来事を想像し、作品の続きを書こう」(「星の花が降るころに」光村図書 全7時間扱い)
 【育成する資質・能力】

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
(1)ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増やし、辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにすること。	C読むこと (1)イ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。 ウ 場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈すること。 オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすること。

【主な学習活動と留意点】

前元「読むこと(文学的文章)」からのつながり：
 「花曇りの向こう」…「僕」の気持ちが変わるきっかけになった場面を捉え、音読を工夫して発表した。
 ・「僕」の気持ちが表示されている表現を見つけ、心の動きを捉えた。
 ・「僕」の気持ちが前向きになるきっかけとなった会話の場面を、役割を決めて音読した。

働かせる見方・考え方：情景描写の違いに着目し、情景の変化と人物の心情の変化との関係性を意味付けること。

階	学習活動	留意点
第1次	1 教師の範読を聞き、初発の感想をもつ。(1)	単元の見通しをもつ場面 ☑学習のまとめとして、作品の続きを書き、交流し合う活動があることを知らせ、単元の見通しをもてるようにしましょう 教科書の「学習」も参考にしましょう
	単元を通した学習テーマ：登場人物の気持ちを想像して、作品の続きを書こう。	
第2次	2 場面展開を確認し、人物の心情の変化をまとめる。(1)	前単元の既習事項を生かし内容把握する場面 ☑行動や情景描写から、「私」の心情がわかる表現を抜き出し、心情の変化をまとめてみましょう。
	3 人物の心情の変化のきっかけとなった場面や出来事をとらえる。(1)	特徴的な表現(教材の価値)に着目して解釈する場面 ☑冒頭と最後の「銀木屋」の描写に関する違いを読み取り、「私」の心情(考え方)の変化との関わりを考えましょう。
	4 作品の続きを考え、交流する。(1)	自分の考えを形成し、共有する場面 ☑人物の気持ちやこの後どんな出来事が起こるかを想像し、作品がどう続いていくか考え、お互いの考えを交流しましょう
第3次	5 作品の続きを書く。(2)	単元で学んだことを活用(一般化)する場面 ☑人物の心情の変化とそのきっかけとなる場面や出来事の描写の関連を考えて作品の続きを書く場を設定しましょう。
	6 単元を振り返る。(1)	自分の学びを振り返る場面 ☑単元で何を学んだのか、学習テーマに対する自己評価を自分の言葉でまとめましょう。

次単元へのつながり：
 「大人になれなかった弟たちに…」「僕」の行動や情景描写から、「ヒロユキ」(弟)への心情を捉える。
 ・登場人物の行動や情景描写に着目して、人物の心情の変化を読み取る。

◆働かせる見方・考え方は単元に応じて絞り込むと、対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に注目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚が高まります。

◆その文章ならではの特徴的な表現を見出すと、ここでは場面展開とそれに伴って変わる「私」の心情に着目し、言葉による見方・考え方を働かせて読むことができます。